

様式第3号

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)	令和元年度 第2回 川西市社会教育委員の会		
事 務 局 (担 当 課)	教育推進部 社会教育課 (内線 3422)		
開 催 日 時	令和元年5月22日(水) 10時00分～12時00分		
開 催 場 所	キセラ川西プラザ3階 川西公民館 集会室		
出 席 者	委 員	野崎議長、住友副議長、田中委員、米田委員、細見委員、 塩谷委員、玉邑委員、丸山委員 計8名	
	そ の 他		
	事 務 局	石田教育長、若生教育推進部長、中西教育推進部副部長、 大屋敷社会教育課長、田中社会教育課主幹、藤井川西公民 館長、村山中央図書館長、山中(社会教育課主事) 計8名	
傍聴の可否	<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数	0名
傍聴不可・一部 不可の場合は、その理由			
会 議 次 第	1. 開 会 2. 前回会議録の承認 3. 報告事項 (1) 各協議会等の会議報告について (2) 生涯学習短期大学レフネック26期生入学者の人数確定について (3) その他 4. 議題 (1) 生涯学習短期大学レフネック次年度講座について (2) 令和元年度年間研究テーマについて 「公民館の役割について～今、何が求められているのか～」 5. その他		
会議結果	別紙のとおり		

様式第3号

会 議 録

会 議 名 (審議会等名)		令和元年度 第2回 川西市社会教育委員の会	
事 務 局 (担 当 課)		教育推進部 社会教育課 (内線 3422)	
開 催 日 時		令和元年5月22日(水) 10時00分~12時00分	
開 催 場 所		キセラ川西プラザ3階 川西公民館 集会室	
出 席 者	委 員	野崎議長、住友副議長、田中委員、米田委員、細見委員、塩谷委員、 玉邑委員、川口委員 計8名	
	そ の 他		
	事 務 局	石田教育長、若生教育推進部長、中西教育推進部副部長、大屋敷社会 教育課長、田中社会教育課主幹、藤井川西公民館長、村山中央図書館 長、山中(社会教育課主事) 計8名	
傍聴の可否		<input checked="" type="checkbox"/> 可・不可・一部不可	傍聴者数 0名
傍聴不可・一部 不可の場合は、その理由			
会 議 次 第		1.開 会 2. 前回会議録の承認 3. 報告事項 (1)各協議会等の会議報告について (2)生涯学習短期大学レフネック26期生入学者の人数確定につい て (3)その他 4. 議題 (1)生涯学習短期大学レフネック次年度講座について (2)令和元年度年間研究テーマについて 「公民館の役割について~今、何が求められているのか~」 5. その他	
会議結果		別紙のとおり	

審 議 経 過

NO.1

議長	<p>本日はお忙しいなか、第2回社会教育委員の会にお集まりいただき、ありがとうございます。それでは開会させていただきます。はじめに本日の委員のご出欠です。川口委員と黒山委員から欠席の連絡をいただいております。I委員の方は遅れておられるようですが、時間になりましたので、始めさせていただきます。それでは開会にあたりまして、石田教育長よりご挨拶いただきます。よろしくをお願いします。</p>
教育長	<p>(挨拶)</p>
議長	<p>それでは議事に入らせていただきます。次第2 前回会議録の承認につきまして、事務局の方から報告をお願いします。</p>
事務局	<p>(説明)</p>
議長	<p>今の説明につきましてご質問、ご意見等ございますか。なければ、前回会議録につきましてはご承認いただいたものといたします。それでは次第3 報告事項です。各協議会の報告内容について前回から今回の間で委員のみなさまの方でご出席された協議会等ございましたら、ご報告をお願いします。なければ、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(1) 阪神北地区社会教育委員協議会第1回理事会について 日時：令和元年5月12日(水) 場所：キセラ川西プラザ3階 川西公民館 集会室 内容： ・「郷土愛と豊かな人間関係を育むまちづくり ～社会教育施設の役割を考える～」 ・令和元年度の事業計画及び予算案について・研究テーマ案 ・令和元年度度總會案について ・全国大会に関する各市への情報共有について 令和元年度の会長市は川西市。副会長市は猪名川町。</p>
議長	<p>ありがとうございました。少し話を整理させていただきます。まず、兵庫県には各市町によって構成される社会教育委員協議会という協議会があります。こちらの会は地区ごとに分かれており、各市町にて持ち回りにて会長市を担当しています。</p> <p>本年度は全国大会の開催が予定されていますが、巡り合わせがあつて、川西市が阪神北地区の会長市となっています。大きな仕事としては、全国大会の分科会を滋賀県とともに運営すること、阪神北地区内での研修会の実施があります。</p> <p>いま事務局から本年度の会長市となったこと、阪神北地区社会教育委員協議会の第1回理事会を開催したこと、阪神北地区の中での研修会、総会の開催を</p>

審 議 経 過

NO. 2

A委員	<p>予定していることについて、お話がありました。また、今年度の研修会については本市の社会教育施設に関連して実施してみてもどうかというお話がありました。理事会は、議長、副議長が出席をしております。副議長のほうから、事務局の説明について補足等がありましたら、お願いします。</p> <p>改めての説明はありません。全国大会の分科会や県・阪神の総会の開催時に川西市が中心となってお声掛けをさせていただくことが、これから10月までの間に増えてくると思います。先日、阪神北地区社会教育委員協議会の理事会にて、各市町の理事の方々とお会いしましたが、メンバーは昨年と大きくは変わっておられませんでした。中心となる方々が引き継いで理事に就任しておられ、建設的な意見が多く出ています。これからお願いごとが増えていくかと思いますが、安心感を持ちました。議長もお話されていましたが、昨年度、会長市を担当された伊丹市が作ってくださったパワー、情熱などの部分を今年、川西市は受け継ぎ、そのまま全国大会へ持っていきたいという想いを、みなさんに受け取っていただけたように思います。</p>
議長	<p>ありがとうございました。事務局は大変かと思いますが、協力して良い全国大会、地区の会議等進めていきたいと思っております。どうぞ、よろしく願いいたします。レフネックの入学式について、出席いただいた委員の方からご報告をお願いします。</p>
D委員	<p>レフネックは昔、私も参加させていただいたことがあります。入学式に出席し、学長講話でお城の話を聞かせていただきました。私もお城には興味がありまして、自分でも現地を見に行ったりしているので、まだまだ勉強したいなという意欲が一層湧きました。非常に良い事業だと思います。教育長もお話されていましたが、若い方も参加されていましたが、高齢の方も学ぶ意欲が見られ、非常に良い内容だと思いました。</p>
F委員	<p>D委員がおっしゃったように、若い方が今回入られたようです。私の知り合いの方でも、4年前に心理学が開催された際、実際見に行かれた方がいらしゃいました。どういう雰囲気か分からなく行かれたようですが、年配の方が多かったこともあり、私ここにいて良いのかなど不安があっただけで、結局数回で辞められた話を聞きました。私も心の未来学科はとても興味がある内容だったので、その方のお話から参加することを躊躇した部分がありました。ただ今回のことで躊躇せずに、行って良いと思えたので、今後は興味ある分野があるときは、私も参加したいと思います。いつまでも学ぶ、知るという姿勢はすごく大切だと思いますので、私も、少しずつ心がけたいと思っています。</p>
議長	<p>ありがとうございました。社会教育委員協議会の中でもレフネックの話が出ました。他市町の方々からはとても良い事業だと評価をいただいています、川西市の1つの大きな看板事業だと思っております。</p>

審 議 経 過

NO. 3

議長	<p>それでは次に(2)生涯学習短期大学レフネック 26期生入学者の人数確定について事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(説 明)</p>
議長	<p>ありがとうございました。結果としては何名か入学辞退が出たということですね。</p>
A委員	<p>私の職場の後輩も前回の学科に参加させていたようで、続けて今年度も参加しようと思ったけれど、落ちてしまったと伺いました。</p>
議長	<p>それでは進行を進めます。(3)その他について、各委員から報告等ございますか。なければ、次第4議題です。それでは議題(1)生涯学習短期大学レフネック次年度講座について、事務局から説明をお願いします。</p>
事務局	<p>(説 明)</p>
議長	<p>では、本科の方からですね、本科の方は文系、理系に分けて選出する必要があるので、1つずつ分けて考えていきましょうか。まず、理系ですが、1番から5番について委員のみなさんから、番号に縛られないかたちで、内容についてご意見をいただければと思います。</p>
G委員	<p>基本的な質問ですが、依頼する大学、講師はどのように選ばれ、依頼されているのか教えてください。</p>
事務局	<p>事前に委員の方々に気になる講義などが無いのか、確認させていただいたところA委員、F委員より意見をいただきました。また、職員の方でも提案いただいた意見に関連する情報が無いのか、ホームページや新聞記事を調べました。いまの時点では、情報を集めたというだけの状態です。今後、本日の会議にていただいたご意見をもとに、大学へ依頼を行っていきます。</p> <p>依頼を大学側に興味を持っていただければ、正式な依頼文書を送付し、教授会等で図っていただくこととなります。受けていただくことが難しい場合は、次の候補の方に交渉していくという流れになります。</p>
G委員	<p>年間20回も実施するのですよね。公民館講座は2回か3回で、講師の先生と打ち合わせをすることでありますが、年間20回の講義を実施していただくのは、大変だと思います。公民館の講座もそうですが、講師の魅力によって、講座の内容や人気が違ってきます。学校教育であれば、嫌な授業でも我慢して受けないといけないという状況がありますが、生涯学習というのは自分が学びたい、やりたいと思うことをできるだけ楽しく学んでいくべきだと思います。ですので、同じテーマであったとしても大学や講師を選ぶ際は、講義の中身というものをできるだけ、住民のニーズに合わせ、興味を持てるような講義</p>

<p>議長</p>	<p>にすることが望ましいと思います。</p>
<p>D委員</p>	<p>具体的にはどの講義がいいというような意見はありますか。</p>
<p>F委員</p>	<p>宇宙に関して講義を行う1、2番などみなさん興味があるのではないかなと思います。夢がありますし、子どもも大人も宇宙は好きですね。</p> <p>理系は4番の植物学科がいいと思いました。やはり専門的なことを学びたいとおっしゃる方は男女の差が出ると思いますが、植物学科は男女関係なく興味があると思います。人が集まる講義がいいという語弊がありますが、人が集まらないと講義が成り立たないので、日々の生活の中で気になることが教えていただけるような講義がいいのではないかと考えました。</p> <p>植物科学の講義案では、アレルギー除去食など、老若ともに食への関心が深いと記載されています。直接関係があるかは分かりませんが、日々の生活の中で遺伝子組み換えではないという表現をよく見ますし、どんな添加物が含まれているかということへの理解は興味関心があるところだと思います。人が生きていくために食べることは必ず必要なことですので、参加してみようという方は多いのではないのでしょうか。私も参加したいなという気持ちがあります。ですので、理系の中では植物学に興味があります。</p>
<p>議長</p>	<p>ありがとうございます。他いかがでしょうか。</p>
<p>C委員</p>	<p>私も食のところに興味を持ちました。この講座であれば、年齢層関係なく、若い方が来ると思いました。オープンの13、14番のところです。</p> <p>ゲノム編集作物が市場に出るなど専門的なこともおもしろそうだと思います。</p>
<p>議長</p>	<p>おそらく来年の今頃に大学側と講義内容を詰めていくことになると思います。つまり、1年後に実施するということです。ちょうど1年後はオリンピックで盛り上がっていることが想定されます。そのことを想定すると、掴みになる講義の1つとして、食というものは健康と関連する部分もあるので実施するといいいのではないかと思います。理系のほうは例年、男性が多く、女性が少ない傾向があるとのことでした。今、2人の女性委員から発言があった内容をどうやって女性を新たに広げていくかという点で、もしかしたら失敗することもあるかもしれませんが、挑戦してみてもいいのではないかと思います。他に、ご意見いかがでしょうか。</p>
<p>C委員</p>	<p>理系学科でいうと、個人的には宇宙についてとても興味があります。ただ、個人的には興味がありますが、みんなが受講したいと思うためには、今が旬というような話題が必要とも思います。</p> <p>また、文系の古典学科というのは各公民館で講座などでもされており、北陵公民館では比較的高齢の方が参加されています。</p>

審 議 経 過

NO. 5

A委員	<p>宇宙については、最近話題が多いように思います。ブラックホールの発見であるとか、民間人の宇宙旅行などです。確かに男性の方が好きな分野かもしれませんが、宇宙という言葉は非常に身近なものになってきていると感じます。また、アメリカの月着陸を考えている話もあるなど、いろいろと宇宙に関する話題は多いことから、興味を持っていただけるのではないかなと思いました。個人的にも興味深いです。</p>
議長	<p>はい、議題として後で戻ってくることもできますので、とりあえず、話を先に進めさせていただきます。文系は6番から8番の方から1つ選ぶということですが、こちらについてはご意見いかがでしょうか。</p>
A委員	<p>日本史学科は非常に大事だと思います。また、仕事の話になって恐縮ですが、私が教師の時に教えていた内容といまの教育現場で教えている内容は変わってきています。聖徳太子は本当に実在したのか、鎌倉幕府が始まった定義をどこに置くのか、弥生時代と縄文時代の明確な区切りはないのではないのか、などいろいろと変わってきています。時代によっては、諸説入り乱れているような状況もありますので、その辺の話も聞けたら加茂遺跡の位置づけみたいなものも変わってくるかもしれません。川西市民として、そこは知っておきたいということもあるかと思えます。個人的な興味が理由にはなってしまいますが、日本史の変わり目にきているというようなところを教えてほしいという想いがあり、講義案として、提案しました。</p>
議長	<p>ありがとうございました。他の委員の方ご意見いかがでしょうか。I委員いかがですか。</p>
I委員	<p>私の専門は社会科ですので、歴史に興味はあります。私もPTAの役員さんと一緒に歴史について学習したことがあります。川西市の歴史について、あまり知らない方もおられました。ご年配の方はご存知だとは思いますが、川西市の歴史などと結び付けながら、日本史の最新の成果を教えてもらったらおもしろいと思います。</p>
議長	<p>歴史系は手堅く、失敗しないというところがあります。過去も実施されていましたが。</p>
事務局	<p>はい、開講しています。</p>
議長	<p>傾向としては、どうでしょうか。今、A委員がおっしゃられたように川西市に特化したような歴史の講義をしていただくべきなのか、それとも、もう少し広く縄文、弥生という時代の話を進めながら川西市にも触れるような講義をしていただくべきなのか。</p>
事務局	<p>やはり本科の方は、年間20回を2年間実施しますので、議題の幅は広い方</p>

審 議 経 過

NO.6

事務局	<p>がいいと思います。この後、オープン講座について議論いただきますが、ここ何年かは4回の短期講座となるオープン講座にて、川西市に関連する議題などをいれ、講義していただいています。本科については、講義のポイントをそこまで絞ることはしていません。いままでも、大学の先生との調整の際に、阪神間もしくは川西市に絡めた話題があれば、20コマの内の1コマでも入れていただければ、というお願いはしていますが、川西市を専門的にご存知の先生がたまたまいらっしゃるといことはなかなか無いので、実施は難しい状況です。</p>
議長	<p>他はいかがでしょうか。万葉集については、今年元号の関係で話題となりましたが、来年の今頃はあまり言わなくなっていると思います。大河ドラマなどの話題から選ぶと、次は明智光秀とかじゃないでしょうか。いま福知山市の方など動いておられると思います。</p>
事務局	<p>川西市の歴史に関しましては、同施設で開催している高齢者大学りんどう学園のわがまち学科があります。A委員のお話にありました川西市の弥生時代の話などは、川西市に特化した学科としてわがまち学科というのも開講しておりますので、高齢者の方はそちらを利用していただくのもいいかもしれません。</p>
議長	<p>住み分けということですね。レフネックはある程度、学術性が高いという特性もありますし、同じような内容にならないことが望ましいということですかね。そこはいかがでしょうか。6、7、8番と歴史系ですが、それ以外となると今年は心理学が候補ですか。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
議長	<p>人文系ということはいかがでしょうか。事務局に戻しますが、企画倒れに終わったものや、こんなできたらいいなという案で資料に挙がっていないものはなにかありますか。過去にやってみたけれど、思うように人が集まらなかった講義なども含めて、いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>過去の講義をみると、文系というとはやはり、心理学、歴史に興味のある方が多いというところがあり、講義案もその分野の提案が多く挙げております。特に歴史はレフネックを卒業された方が、歴史研究会というグループも立ち上げておられたりする分野になりますので、多くの方に受講いただける学科になるのではないかと期待しております。本日、委員のみなさんからいただいた意見をもとに文系については、歴史の方を優先的に交渉させていただいて、もし難しいようであれば、文学等も検討させていただく方向で動けたらと思います。</p>
議長	<p>少し話を進めさせていただきます。オープン講座ですが、資料の9から16番の中で3つを候補に選ぶ必要があります。ご意見、いかがでしょうか。</p>

審 議 経 過

NO.7

C委員	<p>防災への知識は必要ということから、関係性のあるプレート活動について地震関係のことも含め、オープン講座で開催するのがいいのではないかと思います。</p>
議長	<p>9、10番です。私もこれは外せないと思います。昨年、大阪府北部地震がありました。このあたりの地域は有馬高槻断層が走っています。調べてみると今、宝塚市さんがウィルキンソンで売り出そうとされていますが、ウィルキンソンがあって、炭酸せんべいがあって、宝塚温泉があって、三ツ矢サイダーがあってと、この断層で炭酸文化があるのではということのを思いました。防災と炭酸と地域振興みたいなところを市民のみなさんに伝えられたらおもしろいのではないかと思います。他はいかがでしょうか。</p>
A委員	<p>テレビ報道で阪神大震災から年数が経ち、みなさんの意識も風化しつつあるような現状があると見ました。私は教師という立場だったので、神戸市の方に人材を派遣したり、体育館で品物分けたりしたという記憶が残っていますが、年数を経ていくと、どんどん記憶が風化していくという実態はあります。また、阪神淡路大震災以降に生まれた方々が、これから社会の中心になってくるという状況もあります。そういうことも含め考えると、東日本大震災や九州地震などの災害も年数が経つにしたがって危機意識が薄れてくると、防災に関する意識も薄れてくるとい危険があります。</p> <p>テレビで個人的に防災グッズを準備していますが、食料の備蓄はされていますかというアンケートをとっておられました。私達が思っているほど、実際にはみなさん用意をされておらず、意外に意識が薄いという部分があり、自分の中の考えとのギャップがあるように感じました。そのわりには、今、議長のお話にもあったように、私達は有馬高槻断層の真上に住んでいます、なにげなく五月山の線を見ていても、断層でできた山だと分かりますし、猪名川の流域の曲がり方って、断層線に沿ってきているものですね。そういうようなことを考えるとやはり、ここに住む私達は防災を忘れてはいけません。</p> <p>ですから、災害、防災についてはぜひ、オープン講座で講義していただくべき内容かと思えます。今後のことを予知はできませんが、災害が起こった時の心構えなどを教えていただければ、いざという時に心強いものになるのではないかなと思ひ、テーマを提案しました。</p>
議長	<p>公民館でも地域防災の講座は実施されているのでしょうか。</p>
事務局	<p>地域防災を毎年必ずやっているかという、何年かに1回どこかの公民館で実施しているくらいで、そんなにやっているわけではないです。</p>
議長	<p>講座とかセミナーでもないですか。</p>
事務局	<p>やっていません。</p>

審 議 経 過

NO. 8

議長	防災担当課が実施しているというのも無いですか。
事務局	避難訓練とかは実施していますが、講座として、そこまで防災はやっていないです。
議長	阪神淡路大震災の関係で市が何かやっているというのは無いでしょうか。市民さん向けの防災講座とか、東日本大震災とかその辺りの時期に、やっておられますよね。そういうのは無いですか。
事務局	無いです。
事務局	昨年、社会教育団体の川西市婦人会の方で、市の危機管理課の職員に来ていただいて、防災の講座を実施されたことがありました。その時に危機管理課としては防災意識を高めるために、職員の方で講習を実施されておられ、希望があれば講師として行けますとは、おっしゃられていました。防災については、その分野を専門とされた課で危機意識についての対応はされてはいると思います。ただ、そこだけで十分かということそうではないと思います。
議長	分かりました。
C委員	地域の一部の人間で自主防災会というのは開いています。一部の人間が学ばれたことを災害訓練がある時に情報共有していただけるというようなことは、地域ごとにはあると思います。
議長	学術的にアプローチしているというのは無いということであれば、オープン講座のテーマの1つになると思っていいのではないかと思います。地層を含めた専門分野のお話を防災の話も含めてしていただければおもしろいと思います。その他、ご意見いかがでしょうか。
B委員	先程議長がおっしゃられましたが、ちょうど東京オリンピックの年になりますので、アスリートの食事など良いのではないかと思います。オリンピックで活躍された方々がどういう食事をされていたか興味のある方は多いのではないのでしょうか。よくテレビでもスケートの羽生さんがどういう食事をされていたか、話題になっていたように記憶しています。オリンピックの年にすごくピッタリの講義だと思います。
議長	例えば宝塚医療大学がありますよね。過去に連携はされていませんか。
事務局	レフネックではしていません。
議長	そちらと連携するのもいいかもしれません。ほかに、ご意見いかがでしょうか。

審 議 経 過

NO.9

C委員	<p>新技術もおもしろそうだと思います。</p>
議長	<p>そうですね。自動運転とかですよ。</p>
A委員	<p>生き物の基本的構造が、科学技術に取り入れられるって結構多いですよ。そういうものって、知っているようで、意外に知らなくて驚くものも多いと思います。そういうものを教えていただけるのであれば、非常に興味があると思います。</p>
議長	<p>今までの意見をまとめますと、防災と文系、理系を1つずつという感じになりますね。これも本科との住み分けも含めて考えることになると思います。そうしましたら、来年度実施事業全般について、ご意見いかがでしょうか。G委員、全体を通していかがでしょうか。</p>
G委員	<p>オープン講座は、先程みなさんからご意見あったように、防災の関係がいいと思います。防災に関する講座はどちらも聞いてみたいと思います。9番はどちらかという地震を中心とした話で、10番は自助、公助、ボランティアの話ですね。今は地震だけではなく、大雨でも被害が出ていますし、災害全般という面では、9、10番どちらも大切だと思います。ただ、内容が重なるのは良くないと思いますので、どちらか選ぶ必要がありますね。</p> <p>また話題にあがっていました13番のスポーツ選手の食事については、私も興味深いと思いました。あとは12番の仕掛学ですが、これはあまり聞いたことが無いようなテーマですので、どんな講座か興味があります。</p>
議長	<p>ありがとうございます。D委員いかがでしょうか。</p>
D委員	<p>最近、我々もそうですが、気づきというものに非常に疎くなっているように思います。</p>
議長	<p>ポーっと生きていたということですね。見ているようで、見ていないといえますか。</p>
D委員	<p>なので、そういうテーマの講義があっても良いのではないかと思います。</p>
G委員	<p>公民館でも講座の人数を増やす、グループを増やすなどの仕掛けについて、どうしたらいいのか共通する点があれば、それも興味があるなと思います。</p>
議長	<p>我々もそうです。高齢化してくると、新しいことをやっている講座があっても、だいたい7割8割くらい内容が想像できる講座へ行ってしまう、一歩踏み外さなくなるといいます。音楽なども過去に聴いたことがある音楽しか聴かなくなるそうです。ですから講座を組むうえで手堅くする部分と、チャレンジする部分と調整することが必要です。そういうことでいうと、3つのうち1つづ</p>

審 議 経 過

NO. 10

議長	<p>らいはチャレンジしてもいいのではないかと思います。人数が集まらないことへの危惧は少しありますが、そこは先ほどもありましたように気づきをする、ちょっとチャレンジしてみようという講座をつくるのも大切というご意見だと思います。他に何かご質問、ご意見などございましたら、お願いします。</p>
事務局	<p>本科の理系学科ですが、宇宙と食物のどちらを優先的に交渉にあたるべきかご意見いただければありがたいです。</p>
議長	<p>優先順位ですね。大学との交渉がありますので、こちらの要望通りとなるかは分かりませんが、宇宙か食物かどちらを優先的に交渉いただきましょうか。</p>
A委員	<p>興味を持たれそうな人の幅から考えると、食だと思います。宇宙は少しマニアックな分野になるような気がします。</p>
議長	<p>26期がエネルギー変換工学科を実施していますので、食を先にした方がバランスとして良いと思います。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。では、本科の方は食と歴史をテーマに、オープン講座は、地震防災、新技術、食、仕掛学などをテーマに大学へお願いにいきたいと思います。また正式には11月の社会教育委員の会にてご報告いたします。</p>
議長	<p>食をテーマにした講義は本科とオープン講座が被ってしまう恐れがあるので、食にこだわらず、オリンピックに関連したオープン講座を開催するなど、本科とテーマが重ならないように調整していただければと思いますが、よろしいでしょうか。</p>
事務局	<p>検討させていただきます。</p>
議長	<p>可能な範囲でがんばっていただきたいと思います。それでは次第を進めたいと思います。(2)昨年度の年間研究テーマにつきまして事務局の方からご説明をお願いします。</p>
事務局	<p>今年の年間テーマですが、「公民館の役割について今何が求められているか」について、引き続きご審議お願いしたいと思います。ついては、前年度の数字をもとにした資料を作成しております。お手元の資料4をご覧ください。</p>
事務局	<p>(説 明)</p>
議長	<p>ありがとうございました。審議報告ですが、今年度は2年間の決着をつけるということで審議を進めていきたいと思います。今、事務局より市全域のソフト面に関するお話をいただきましたが、ご質問やご意見ありますでしょうか。</p>

審 議 経 過

NO. 11

C委員	<p>市の公民館が無くなっていくなか、川西市はがんばって残して欲しいです。他市では指定管理者が入ったり、公民館というかたちではなく他のかたちになってしまっていますが、川西市はがんばって公民館を残していきたいです。</p>
G委員	<p>公民館に行政センターが併設されているというのは川西市だけですか。</p>
事務局	<p>私が聞いた限りでは他に無いと思います。地区公民館数について、西宮市と川西市を比較すると西宮市は24館、川西市は10館です。ただ、職員数について西宮市は64名、川西市は69名です。西宮市はどうやって運営を回しておられるのかと疑問はあります。</p>
議長	<p>西宮市は、川西市と同じように独立館になっています。おそらく嘱託職員の方々が、公民館主事というかたちで従事されていると思います。本市の場合は41名の方が専任ではなく、センター業務と公民館業務を兼任されているということです。ですから西宮市の64名という数字は本市の69名とは少し違うと思います。</p>
G委員	<p>また、川西市には貸し館業務と講座等がありますが、西宮市は貸し館が中心なんじゃないでしょうか。川西市の場合は各館で予算をいただき、幅広い講座を設定し、講座をやっています。それに貸し館業務も行っているわけです。その辺の情報は分かりますか。</p>
事務局	<p>すみません、分かりません。調べておきます。</p>
G委員	<p>お願いします。もしかしたら講座は中央しかやっておらず、他は貸し館業務だけかもしれないですね。人数だけの情報を見て推測しているだけですが。</p>
事務局	<p>西宮市は各館3人ぐらいしかいないようです。</p>
G委員	<p>そうですね。この人数でここまで幅広くするのは難しいでしょうね。</p>
議長	<p>川西市の場合は講座企画というのは基本的には各公民館でされていると認識しています。中央で決めて実施するというかたちではなく、各館で計画をされ、それを全体で共有しているということですよね。私を知る範囲では川西市に近いかたちで運営をされている市は加古川市ぐらいだと思います。もちろん、全部というわけではなく、地区センターと公民館が併設する施設で、兼任の人が従事されており、独立館があるという形の公民館というくくりで話しています。もしかしたら、私の認識不足で他にもあるかもしれません。</p>
C委員	<p>北陵公民館で勤務されている方で、他の館も兼務で勤務されている職員の方はいらっしゃいますか。</p>

審 議 経 過

NO. 12

事務局	職員が館をまたいで勤務していることはないです。いま、北陵公民館は館長と、嘱託1人、再任用職員1人、臨時職員が4人おられます。今年から1人の方が市役所と兼務でお仕事をいただいているというケースはあります。他の館と兼務はされていません。
C委員	市役所に行かれているんですね。
事務局	でもその方、お1人だけです。
議長	ほかは、いかがでしょうか。2年目になりますので、川西市の公民館の様子について共通認識ができてきているのではないのでしょうか。あとは、本市の特性というところも振り返り、今C委員がおっしゃったように、これまで積み重ねてきたものを、より良いものにして市民に提供できるように、協議をしていければと考えております。A委員いかがですか。
A委員	今頃こんな基本的な質問していいのかなと思いますが、各市によって公民館の考え方は違うということでしょうか。市によって公民館数が多い、少ないということがあります。どうやって公民館を作ろうという話になってきたのか気になります。
議長	<p>話が長くなりますが、少しご説明しますと、戦後に社会教育施設の整備に関する補助金がありました。中学校区ごとに新しく公民館を作るところからスタートしていますので、公民館は基本的に市町村立となっています。小学校も同じです。それが平成15・6年ぐらいに法律が改正され、市町村の判断で、施設を転用してもいいということになったことを契機にコミュニティ・センターなど、いろいろなものができたということです。そのタイミングで公民館も教育委員会から離して、運用するという流れができました。</p> <p>基本的には今、A委員がおっしゃったように、各市が公民館をどう使うかによって、どうとでもできるっていうというのが1つポイントです。もう1つ、公民館という名称は、小学校などというような基準がなく、誰が使っても良いとなっていることから、その村々の公会堂なども公民館と名乗っていて、とても分かりづらい状況になっています。</p> <p>結論は、川西市の場合は非常にまじめに社会教育法を守りながら、中学校区ごとに独立した館を持っているということです。もう少しお話しますと、平成に入ってから兵庫県は合併によって、77市町村から41市町村へ減っていますが、川西市は合併がなかったため、市はそのまま存続しています。合併があった市町村は、旧の市町村ごとに中央公民館と分館がある状態だったものが、そのまちとまちが合併してしまっているので、孫館と呼んでしまえるような館もあるなど、少しいびつな形になっています。また、合併する際に教育委員会から市へ管理を移し、コミュニティ・センターにしているということもあります。養父市や宍粟市は中央公民館がホールを兼ね備えた施設になっていて、歌謡ショーができるようなホールがあり、後は分館という中央分館方式をとって</p>

	<p>います。</p> <p>つまり、本当にいろいろな形があります。川西市の場合は地区館をベースに積み上げておられ、市町村の合併もなく、教育委員会の社会教育課が所管する形でおられるということです。ただ、これまでの経緯から、地区センターを併設しているということです。おそらくその中で職員数等の調整があり、専任を兼任というかたちにして、職員を残したというのが、いまの公民館の形であると私は理解しています。事務局いかがでしょうか。</p>
事務局	<p>公民館は独立しているので、社会教育課が公民館を所管はしていません。教育推進部の中に社会教育課と公民館 10 館が並んでいるイメージです。キセラ川西プラザでいいますと、ホールのほうも文化・観光・スポーツ課という市長部局の担当が所管しており、公民館は3階のフロアだけです。ただ、川西市に中央公民館はないとお伝えしましたが、川西公民館が他の館を取りまとめ、調整はしています。予算も川西公民館で取りまとめ、それぞれの館に予算を配分し、各館にて執行してくださいということとしています。</p>
議長	<p>それは、学校教育課の下に学校があるのではないというのと同じだと思います。</p>
G委員	<p>先ほどの事務局の話への補足となりますが、川西市の場合は昭和 40 年代から特に北部の方で大規模開発がありました。開発の手法として小学校や公民館を業者に条件付きで作ってもらったという点で特徴があると思います。東谷、多田、川西南は違いますが、それ以外の団地の中にある公民館は開発業者が全部作っています。そのような開発も公民館の設置に大きな影響を与えていると思います。</p>
議長	<p>そのお話にも、補助金の関係はあると思いますので、先ほどの話と繋がるどころだと思います。市独自で運用できているということで学校とは少し違うということです。運用の話になってしまいましたね。では、ほかに、いかがでしょうか。今年度は引き続きこのテーマで協議をするということですので、会議以外の部分でも、公民館の活動にぜひ留意していただけたらと思います。</p> <p>それでは予定をしておりました議題等は全て終了しました。最後の次第です。(2) 次回の社会教育委員の開催について事務局お願いします。</p>
事務局	<p>次回の社会教育委員の会は7月24日です。委員のみなさまは日程調整をよろしく願います。それでは、みなさまのご協力のもと、予定されていた議事を全て終えることができました。以上で第2回の社会教育委員の会を終了させていただきます。ありがとうございました。</p>